

# 島根県立松江北高等学校所蔵遺物について

吉 松 優 希

## は じ め に

本報告は、島根県立松江北高等学校所蔵の考古資料についての資料紹介である。大草丘陵古墳群（東・西百塚山古墳群）出土資料については、本誌に掲載しているほか、赤山出土鉄刀は前号で報告している（吉松2021）。これらの資料は、令和2年3月に今後の資料管理や活用の観点から島根県埋蔵文化財調査センターに移管されたものである。整理にあたっては遺跡ごと、また保管されていた袋ごとに番号をつけて表に整理した。以下、東・西百塚山古墳群以外の出土資料のうち、図化可能な資料について紹介したい（第1図）。

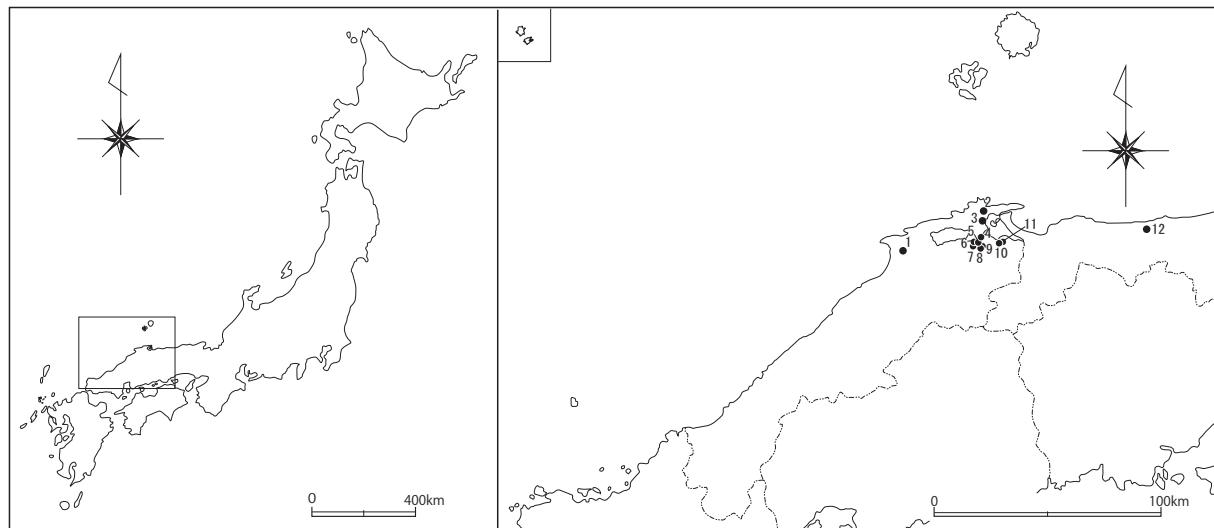
## 1 土 器

土器には、土師器と須恵器がある。このうち、岩屋後古墳（表3-2）、本庄町天理教裏（表4）、天神遺跡（表5）、安部谷（表26-2-1）の図化可能な須恵器について掲載した。岩屋後古墳、天神遺跡、安部谷古墳群は発掘調査や測量調査が実施されており、各遺跡の詳細は各報告書等を参照されたい<sup>(1)</sup>。

第2図1は出雲市天神遺跡の高坏である。坏部から脚部の一部にかけての資料で口縁形態や脚部形態は不明である。線状の透かしがあり、3方向であると考えられる。2は松江市岩屋後古墳の甕である。外面は平行タタキ、内面は同心円当て具痕がつく。3は安部谷古墳群の壺である。4～6は松江市本庄町表採の須恵器である。4は高台付坏の底部で高台は剥離している。底部は回転糸切りである。出雲国府第4～5型式頃であろうか（稻田ほか編2013）。5、6は甕である。外面は平行タタキ、内面は同心円当て具痕がつく。

## 2 陶 器

陶器は、枕木山華藏寺出土資料（表6）がある。ラベルには、表採位置について、本堂裏の小高いところというメモがある。華藏寺は松江市枕木町に所在する。第2図7は、越前産の甕と考えられる。



1 天神遺跡（須恵器） 2 枕木山華藏寺（国産陶器） 3 本庄町（須恵器） 4 東津田（石器） 5 来美廃寺（瓦） 6 大庭鶴塚古墳（埴輪）  
7 岩屋後古墳（須恵器） 8 古天神古墳（埴輪） 9 安部谷古墳（埴輪） 10 造山2号墳（埴輪） 11 宮山3号墳（埴輪） 12 彌陀ヶ平廃寺（瓦）

第1図 島根県立松江北高等学校所蔵遺物出土遺跡（実測図掲載のもののみ表示）

第1表 島根県立松江北高等学校所蔵遺物一覧表

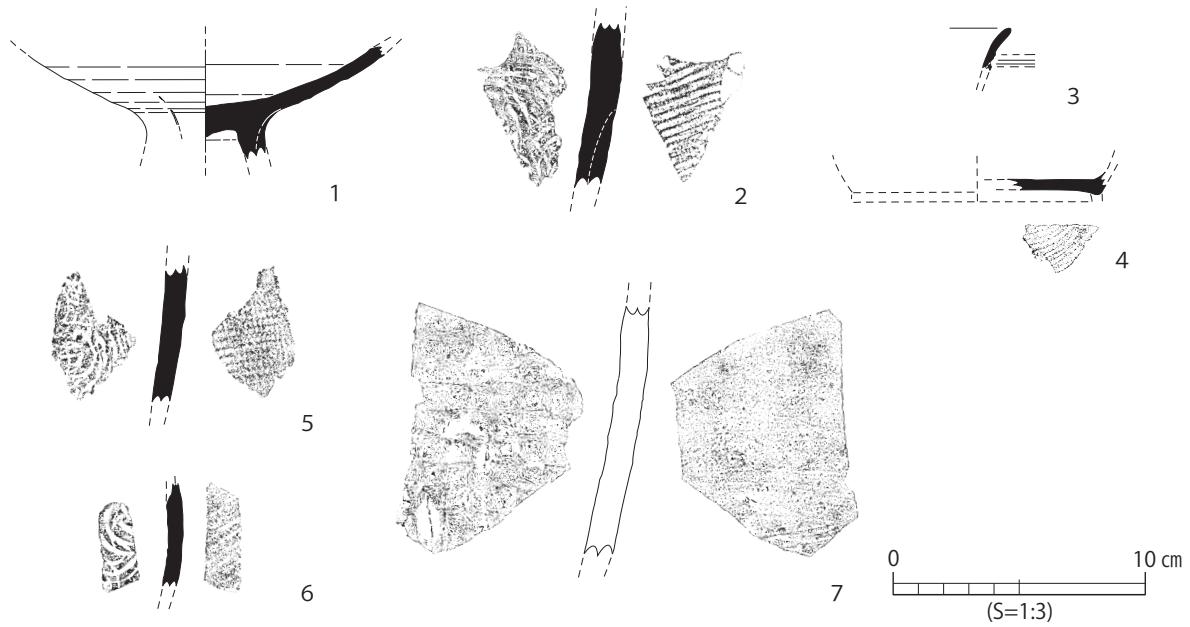
整理番号	挿図番号	遺跡名・出土地	種別	器種	点数	備考
1	第6図2	彌陀ヶ平廃寺	瓦	平瓦	1	鳥取県東伯郡湯梨浜町
2	第6図1	来美廃寺	瓦	平瓦	1	
3-1		岩屋後	石		1	
3-2	第2図2	岩屋後	須恵器	甕	1	
4	第2図4-6	本庄町 天理教裏	須恵器	甕・壺	6	甕3、壺3
5	第2図1	天神	須恵器	高壺	1	
6	第2図7	枕木山 華藏寺	陶器	甕	1	本堂裏の小高い所
7-1	第3図2	東津田 ハゼ岡	石器	ヘラ?	1	
7-2	第3図1	東津田 ハゼ岡	石器	石斧	1	
8-1 (No.1)		岡田山	土師器	甕?	1	口縁部
8-2 (No.2)		岡田山	土師器		1	小片
9	第4図7	下?培塿	埴輪	円筒	1	
10	第4図1	造山二号	埴輪	円筒	1	突帯
11		金崎 I	埴輪	円筒	7	
12-1 (No.25)	第5図1	鶴塚出土	埴輪	円筒	1	突帯
12-2 (No.20)	第5図2	鶴塚出土	埴輪	円筒	1	
13	第4図3	西赤江 宮山古墳 (3号墳)	埴輪	円筒	1	突帯
14-1	第4図4	西赤江 宮山古墳 (3号墳)	埴輪	円筒	1	突帯
14-2	第4図10	大草 安部谷古墳	埴輪	円筒	1	突帯
15	第4図2	西赤江 宮山古墳 (3号墳)	埴輪		13	円筒1、小片11、不明1
16		大草 安部谷古墳	埴輪		1	
17		大草 安部谷古墳	埴輪		1	
18	第4図15	大草 安部谷古墳	埴輪		14	突帯1
19	第4図9+11+12+14	大草 安部谷古墳	埴輪		16	突帯2
20		大草 安部谷古墳	埴輪		2	
21		大草 安部谷古墳	埴輪		2	
22	第4図13	大草 安部谷古墳	埴輪		1	
23		大草 安部谷古墳	埴輪 (No.1)		1	
24		大草 安部谷古墳	埴輪		1	
25		大草 安部谷古墳	埴輪		1	
26-1-1	第2図3	大草 安部谷古墳	埴輪		26	
26-1-2		岡田山2	埴輪?		3	小片
26-1-3		宮山	埴輪		1	小片
26-2-1		大草 安部谷古墳?	須恵器	甕	1	
26-2-2		宮山	須恵器	壺	1	8世紀
27-1		大草 安部谷古墳	埴輪		1	
27-2		古天神古墳の間の丘陵上	埴輪		6	突帯1
28	第4図5+6+8	古天神・西赤江宮山古墳 3号墳	埴輪		3	
29		大草 安部谷古墳	埴輪		5	
30		大草 安部谷古墳	埴輪		13	
31		大草 安部谷古墳	埴輪		4	
32		大草 安部谷古墳	埴輪		17	
33		大草 安部谷古墳	須恵器	甕	2	

※ラベル破損のものはあらたにラベルを書き写したほか、ラベルに遺物種別と点数を書き足した。

### 3 石 器

石器は、東津田ハゼ岡出土資料（表7）がある。表採されたのは、松江市東津田町櫻岡であろう。第3図1は磨製石斧である。刃部が残存しており、一部使用による欠け等が見られる。石材は安山岩系と思われる。

2は不明石製品である。全体によく研磨をされており、先端をヘラ状に成形している。反対側の先端部は断面三角形状をし、あたかも刺突具のような形を呈する。使用などの痕跡は見られない。石材は安山岩系と思われる。



第2図 島根県立松江北高等学校所蔵土器・陶器

#### 4 塹 輪

埴輪は、下?培塿<sup>(2)</sup>（表9）、造山2号墳（表10）、大庭鶏塚古墳（表12）、西赤江宮山古墳（3号墳）（表13・14ほか）、大草安部谷古墳（表18・19・20ほか）、古天神古墳（表28）を掲載した。造山2号墳は安来市荒島町、宮山3号墳は安来市西赤江町、古天神古墳、安部谷古墳は松江市大草町、大庭鶏塚古墳は松江市大庭町に所在する。それぞれ発掘調査や測量調査が実施されており、各遺跡の詳細は各報告書等を参照されたい<sup>(3)</sup>。

第4図1は造山2号墳出土埴輪である。突帯部の破片で外面はナナメハケ、内面はナナメハケのちヨコハケを施す。発掘調査によって出土した埴輪には底部調整を施すものがあり、川西V期に位置づけられる（三宅1992）。2～6は宮山3号墳出土埴輪である。2は小片であるが、内外面ともにハケがよく残る。3は突帯部の破片で外面の調整は摩滅により不明であるが、内面にナナメハケを施す。4も突帯部の破片で外面にナナメハケ、内面には指おさえの痕跡がみられる。5も突帯部の破片である。内外面ともにナナメハケを施す。6も突帯部の破片である。内面には指おさえ、もしくは工具痕が残る。3～6はいずれも突帯部の破片であり、判別可能なもののうち、4はタガc類、5はタガd類、6はタガc類に分類できる（松本編2003）。造山2号墳、宮山3号墳の埴輪は中海系統円筒埴輪群に位置づけられている（田中2017）。7は下?培塿の埴輪片である。外面にタテハケ、内面にヨコハケとナデ、もしくは工具痕が残る。8は古天神古墳出土埴輪の突帯部である。摩滅により調整は不明であるが、円形透かしがみられる。9～15は安部谷古墳群出土埴輪である。9は口縁部の小片である。10～12は突帯部の破片である。10、11は摩滅により調整不明であるが、12は内外面ともにナナメハケが施される。11、12は円形透かしがみられる。13、14は底部の破片である。いずれも摩滅が激しいが、13は内面に棒状工具痕がみられる。いずれも底部調整があり、端部を薄く仕上げている。15は朝顔形埴輪である。外面の一部にハケメがみえる。

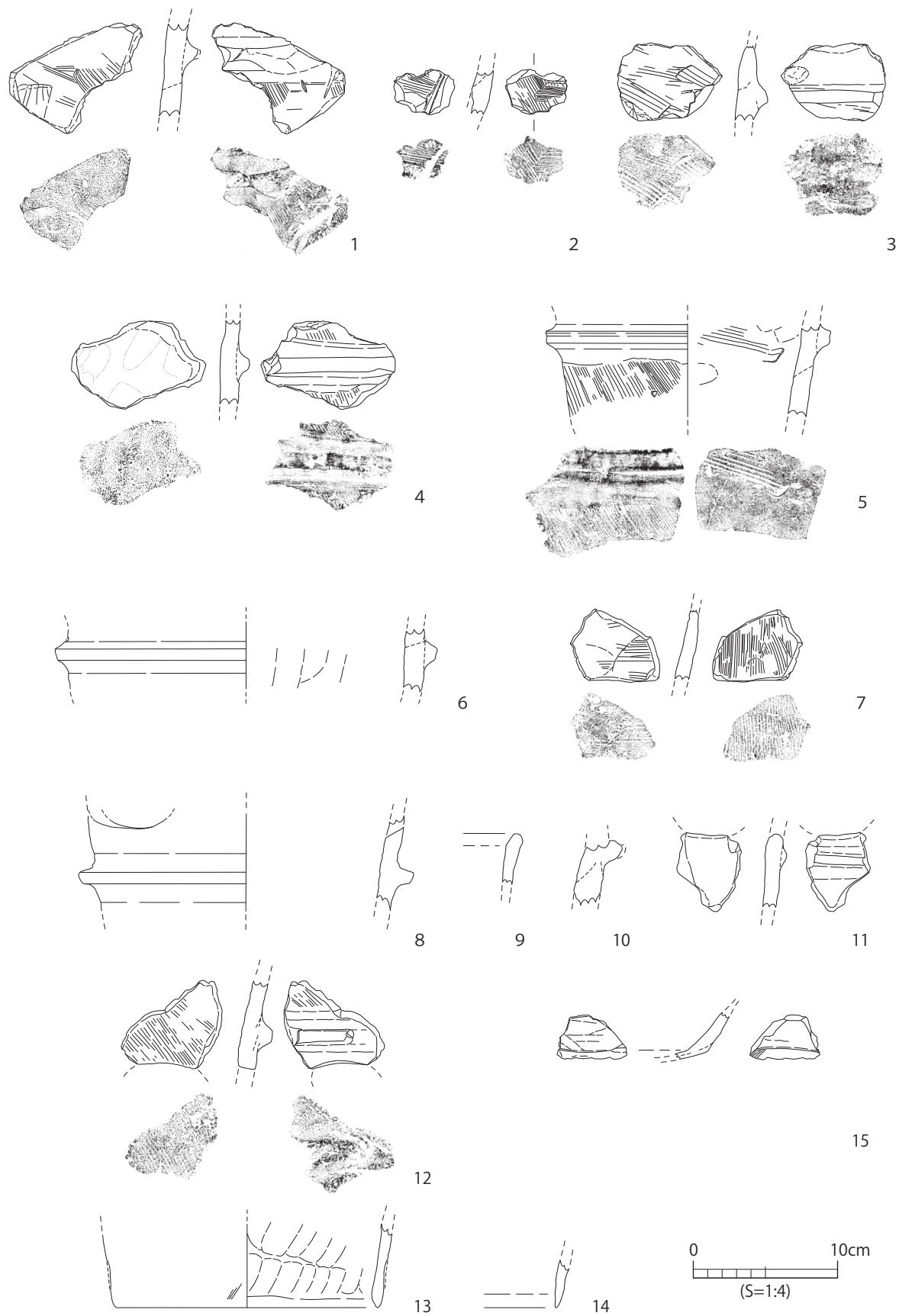
第5図1、2は大庭鶏塚古墳出土埴輪である。1は突帯部の破片で、外面にナナメハケ、内面はヨコハケのちナナメハケを施す。2は外面タテハケ、内面ヨコハケである。

#### 5 瓦

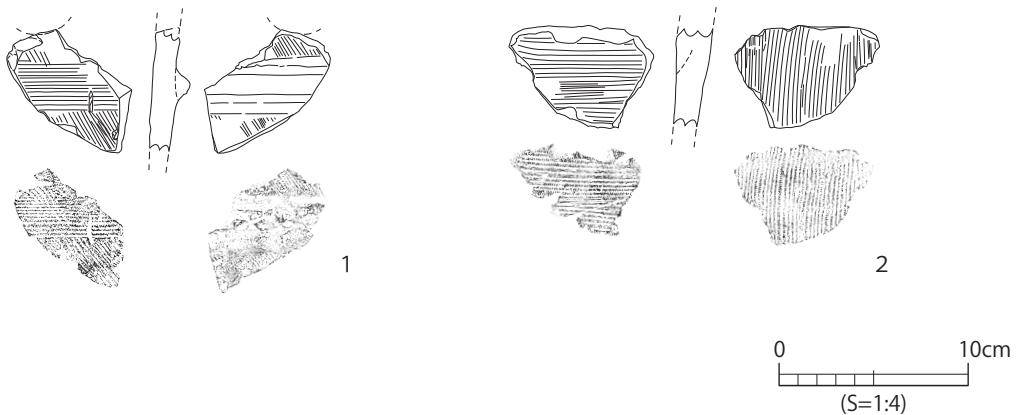
瓦は、来美廃寺と彌陀ヶ平廃寺の資料がある。いずれも平瓦である。第6図1は、来美廃寺の資料（表2）で



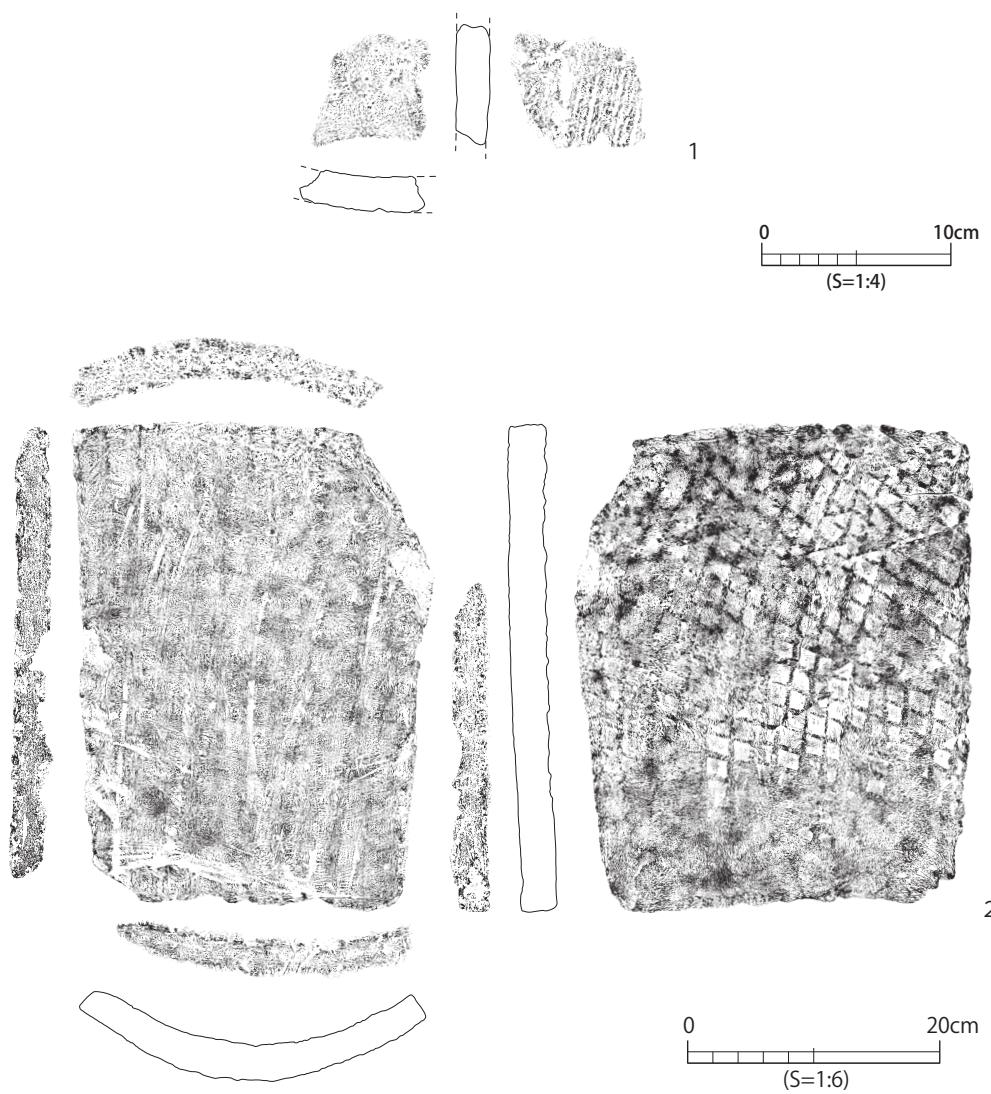
第3図 島根県立松江北高等学校所蔵石製品



第4図 島根県立松江北高等学校所蔵埴輪 1



第5図 島根県立松江北高等学校所蔵埴輪2



第6図 島根県立松江北高等学校所蔵瓦

ある。来美廃寺（山代郷北新造院）は松江市山代町に所在する。四隅や側面を欠き、全形は不明である。凸面調整は縄タタキである。小片であり特定はできないが、凸面の縄目は比較的粗く直行していることからIVb類の可能性がある（柳浦編2002）。

2は彌陀ヶ平廃寺の資料（表1）である。この資料のみ鳥取県内の資料である。彌陀ヶ平廃寺は現在の鳥取県東伯郡湯梨浜町（旧東郷町）に位置する。過去、「野方廃寺」と「彌陀ヶ平廃寺」の2つの寺の存在が想定されていたが、地形条件や軒瓦が同型式であることから同一の寺院と考えられ、「野方弥陀ヶ平廃寺」と呼称されている（真田1980・岸本2003）。発掘調査は実施されておらず、表採資料が知られるのみである（岸本2003）。平瓦はほぼ完形であるが、2隅を欠損する。桶巻作りで凸面調整は格子叩きである。重量は5620gでおおよそ1枚あたりの平瓦の重量が分かる。

### おわりに

以上、雑多ではあるが、松江北高等学校所蔵の考古資料の概要について示した。この資料紹介が今後の研究の一助になれば幸いである。本報告に掲載し、整理したもの以外に、「安部谷古墳群の測量調査」（池淵2018）に掲載した第47図7～13も移管されている。また、松江高校考古部等がかかわった調査等の写真（紙焼）アルバムも移管されている。紙面の都合から各遺跡の概要については、多くのもので省略させていただいた。ご寛容願いたい。

### 付記

本報告に掲載した遺物及び実測図・写真などの資料は、島根県教育庁埋蔵文化財調査センター（島根県松江市打出町33番地）で保管している。

### 註

- 1) 岩屋後古墳（横山ほか1978）、天神遺跡（出雲考古学研究会1979）、安部谷古墳群（池淵2018）
- 2) 下?培塿は注記がなされるものの「?」部分は判読ができない。所在地も不明である。
- 3) 造山2号墳（三宅1992）、宮山3号墳（松本編2003）、古天神古墳（岩本編2018、原田2018）、安部谷古墳（池淵2018）、大庭鶴塚古墳（岡崎1979、丹羽野1993）

### 参考文献

- 池淵俊一2018「安部谷古墳群の測量調査」『上竹矢7号墳・東百塚山古墳群・古天神古墳・安部谷古墳群調査報告書』島根県教育委員会  
 出雲考古学研究会1979『古代の出雲を考えるⅠ 天神遺跡の諸問題』  
 稲田陽介・原田敏照（編）2013『史跡出雲国府跡－9 総括編－』島根県教育委員会  
 岩本 崇（編）2018『古天神古墳の研究』島根大学法文学部考古学研究室・古天神古墳研究会  
 岡崎雄二郎1979『史跡大庭鶴塚発掘調査報告』松江市教育委員会  
 川西宏幸1978『円筒埴輪総論』『考古学雑誌』64-2日本考古学会  
 岸本浩忠2003『鳥取県立博物館所蔵古代寺院関係資料集』鳥取県立博物館  
 真田広幸1980「奈良時代の伯耆国に見られる軒瓦の様相」『考古学雑誌』66-2 日本考古学会  
 田中 大2017「出雲・伯耆西部における古墳時代後期後半の異系統円筒埴輪の融合」『考古学研究』64-2 考古学研究会  
 丹羽野裕1993「付 大庭鶴塚古墳測量調査」『風土記の丘地内遺跡発掘調査報告』IX 島根県教育委員会  
 原田敏照2018「古天神古墳の発掘調査」『上竹矢7号墳・東百塚山古墳群・古天神古墳・安部谷古墳群調査報告書』島根県教育委員会  
 松本岩雄（編）2003『宮山古墳群の研究』島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター  
 三宅博士1992「付編 造山2号墳発掘調査」『安来市造山古墳群発掘調査報告書』安来市教育委員会  
 柳浦俊一（編）2002『来美廃寺』島根県教育委員会  
 横山純夫・卜部吉博・平野芳英1978『岩屋後古墳発掘調査概報』島根県教育委員会  
 吉松優希2021「赤山出土鉄刀について」『古代文化研究』29 島根県古代文化センター

第2表 島根県立松江北高等学校所蔵土器観察表

挿図番号	写真図版	種別	器種	出土地	法量( ) 内復元値			胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴	備考
					口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)					
2-1	1	須恵器	高坏	天神	—	—	—	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:灰色(5Y6/1) 内面:灰色(5Y5/1)	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ、环部回転ヘラ切り、未調整	脚部に線状透かし(三方か)
2-2	1	須恵器	甕	岩屋後	—	—	—	密(1mm以下の砂粒極少量含む)	良好	外面:灰色(5Y6/1) 内面:灰色(5Y5/1)	外面:平行タタキ、自然釉かかる 内面:同心円当て具痕	胴部片
2-3	1	須恵器	甕	安部谷?	—	—	—	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	外面:暗灰色(N3/) 内面:暗灰色(N3/)	外面:ナデ、沈線 内面:ナデ	口縁部小片
2-4	1	須恵器	高台付坏	本庄町 天理教裏	—	—	(10)	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:灰色(7.5Y5/1) 内面:灰色(7.5Y5/1)	外面:回転ナデ、底部回転切り 内面:回転ナデ	
2-5	1	須恵器	甕	本庄町 天理教裏	—	—	—	密	良好	外面:灰色(5Y5/1) 内面:灰色(5Y5/1)	外面:格子タタキ 内面:同心円当て具痕	胴部片
2-6	1	須恵器	甕か提瓶	本庄町 天理教裏	—	—	—	密	良好	外面:灰色(5Y6/1) 内面:灰色(5Y5/1)	外面:格子タタキ、カキ目? 内面:同心円当て具痕	胴部片

第3表 島根県立松江北高等学校所蔵陶器観察表

挿図番号	写真図版	種別	器種	出土地	法量( ) 内復元値			胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴	備考
					口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)					
2-7	1	陶器	甕	枕木山華嚴寺 本堂裏の小高い所	—	—	—	密(1mm~3mmの砂粒含む)	良好	外面:暗灰色(N3/1) 内面:ぶい赤褐色(5YR5/3)	外面:ナデ 内面:ナデ	越前か

第4表 島根県立松江北高等学校所蔵石製品観察表

挿図番号	写真図版	種別	器種	出土地	法量( ) 内復元値				石材	色調	調整・手法の特徴	備考
					長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)				
3-1	3	石製品	磨製石斧	東津田 ハゼ岡	8.9	6.1	3.1	290	安山 岩系	黄灰色(2.5Y5/1)	全体に磨き	
3-2	3	石製品	不明石製品	東津田 ハゼ岡	21.6	3.8	2.4	200	安山 岩系	灰オリーブ色(5Y6/2)	全体に磨き、刃部をつける	

第5表 島根県立松江北高等学校所蔵埴輪観察表

挿図番号	写真図版	種別	器種	出土地	法量( ) 内復元値			胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴	備考
					口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)					
4-1	1	埴輪	円筒	造山2号墳	—	—	—	密(1~3mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR7/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:ナデ、ナナメハケ 内面:ナナメハケのちヨコハケ	
4-2	1	埴輪	円筒	宮山3号墳	—	—	—	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	外面:橙色(7.5YR6/6) 内面:黄褐色(2.5Y5/3)	外面:ナナメハケのちやナナメのヨコハケ 内面:ナナメハケ	
4-3	1	埴輪	円筒	宮山3号墳	—	—	—	密(1~5mmの砂粒含む)	良好	外面:黄褐色(7.5YR7/8) 内面:灰黄褐色(10YR5/2)	外面:摩滅激しく調整不明 内面:ナナメハケ	
4-4	1	埴輪	円筒	宮山3号墳	—	—	—	密(1~3mmの砂粒含む)	良好	外面:浅黄褐色(10YR8/4) 内面:ない黄褐色(10YR7/4)	外面:ナナメハケ、ナデ 内面:指おさえ?	
4-5	1	埴輪	円筒	宮山3号墳	—	—	—	密(1~3mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(7.5YR7/6) 内面:ない黄褐色(10YR6/3)	外面:ナナメハケ、ナデ 内面:ハケ、ナデ?	
4-6	1	埴輪	円筒	宮山3号墳	—	—	—	密(1~4mmの砂粒 1.5×1.5の石含む)	良好	外面:浅黄褐色(10YR8/4) 内面:浅黄褐色(10YR8/4)	外面:ナデ 内面:ナデか棒状工具痕	
4-7	1	埴輪	円筒	下?培塿?	—	—	—	密(1~3mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:タテハケ 内面:ヨコハケ、ナデか工具痕?	
4-8	2	埴輪	円筒	古天神古墳	—	—	—	密(1~3mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:ナデ?摩滅激しく調整不明 内面:ナデ?摩滅激しく調整不明	
4-9	2	埴輪	円筒	安部谷	—	—	—	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:摩滅激しく調整不明 内面:摩滅激しく調整不明	口縁
4-10	2	埴輪	円筒	安部谷?	—	—	—	密(1~2mmの砂粒含む)	やや不良	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:摩滅激しく不明 内面:モニモニ	
4-11	2	埴輪	円筒	安部谷	—	—	—	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	外面:黄褐色(7.5YR7/8) 内面:黄褐色(7.5YR7/8)	外面:ナデ?摩滅激しく調整不明 内面:摩滅激しく調整不明	透かしの一部
4-12	2	埴輪	円筒	安部谷	—	—	—	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:ナナメハケ、ナデ 内面:ハケ	
4-13	2	埴輪	円筒	安部谷	—	—	(18.0)	密(1~3mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:ハケ? 内面:棒状工具叩き	底部
4-14	2	埴輪	円筒	安部谷	—	—	—	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:摩滅激しく調整不明 内面:モニモニ	底部
4-15	2	埴輪	朝顔	安部谷	—	—	—	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	外面:橙色(5YR6/8) 内面:橙色(5YR6/8)	外面:一部ハケ 内面:ナデ?	
5-1	2	埴輪	円筒	鶴塚	—	—	—	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:灰黄褐色(10YR5/2) 内面:灰黄褐色(10YR5/2)	外面:ナナメハケ、突端貼り付け後ナデ 内面:ヨコハケのちナナメハケ	透かしの一部
5-2	2	埴輪	円筒	鶴塚	—	—	—	密(1mmの砂粒含む)	良好	外面:暗灰黄色(2.5Y5/2) 内面:暗灰黄色(2.5Y5/2)	外面:タテハケ 内面:ヨコハケ	

第6表 島根県立松江北高等学校所蔵瓦観察表

挿図番号	写真図版	種別	器種	出土地	法量( ) 内復元値			胎土	焼成	色調	調整・手法の特徴	備考	
					長(cm)	幅(cm)	厚(cm)						
6-1	4	瓦	平瓦	来美庵寺	—	—	1.8	130	密	良好	凹面: ない黄褐色(10YR6/4) 凸面: ない橙色(7.5YR6/4)	凹面: 布目? 凸面: 繩タタキ	隅なし、全体は不明、軟質
6-2	5	瓦	平瓦	伯耆弥陀ヶ 平庵寺	38.4	32.7	3.1	5620	密(1~5mmの砂粒含む)	良好	凹面: 橙色(7.5YR7/6) 凸面: 橙色(7.5YR7/6)	凹面: 布目左痕、横骨痕、側面ヘラ切り 凸面: 格子タタキ(1.5~1.6cm×1.3~1.4cmの方形格子)	桶巻きづくり、 2隅欠損もほぼ完形

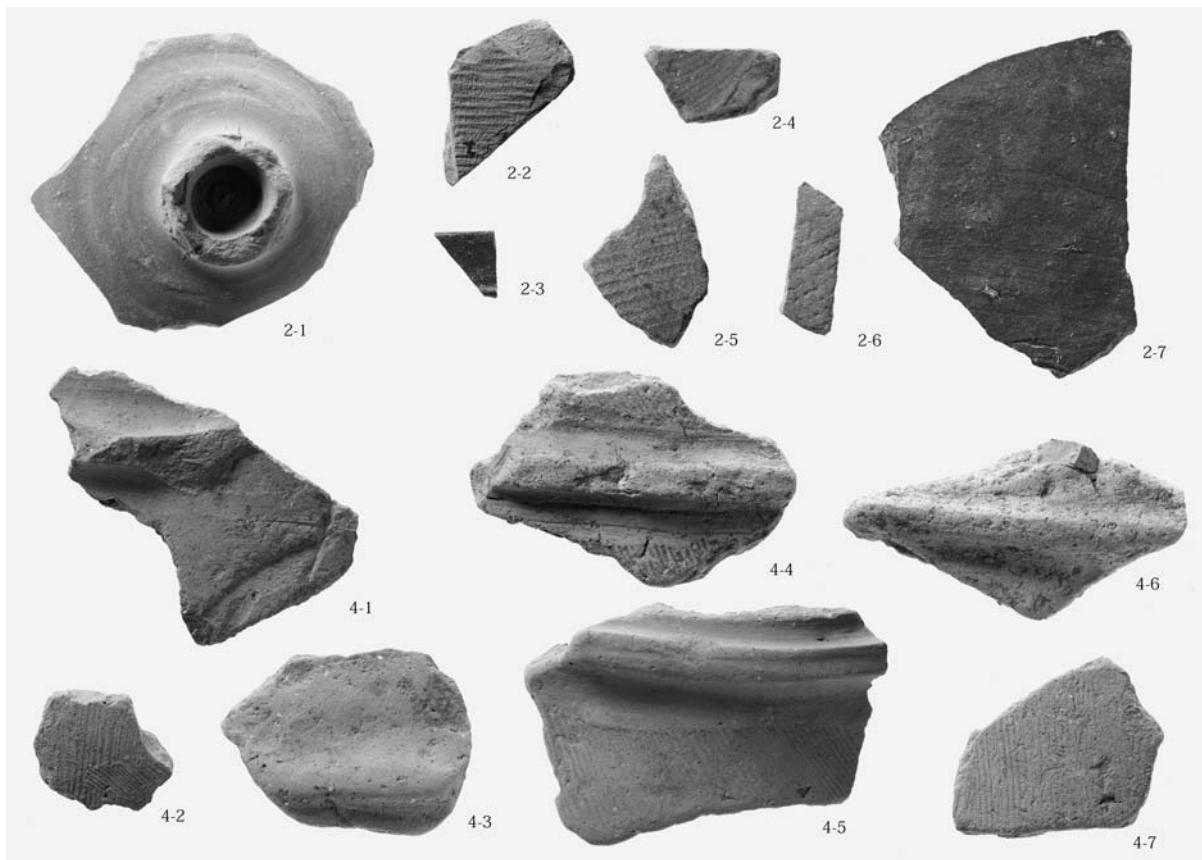


写真1 島根県立松江北高等学校所蔵土器・陶器・埴輪

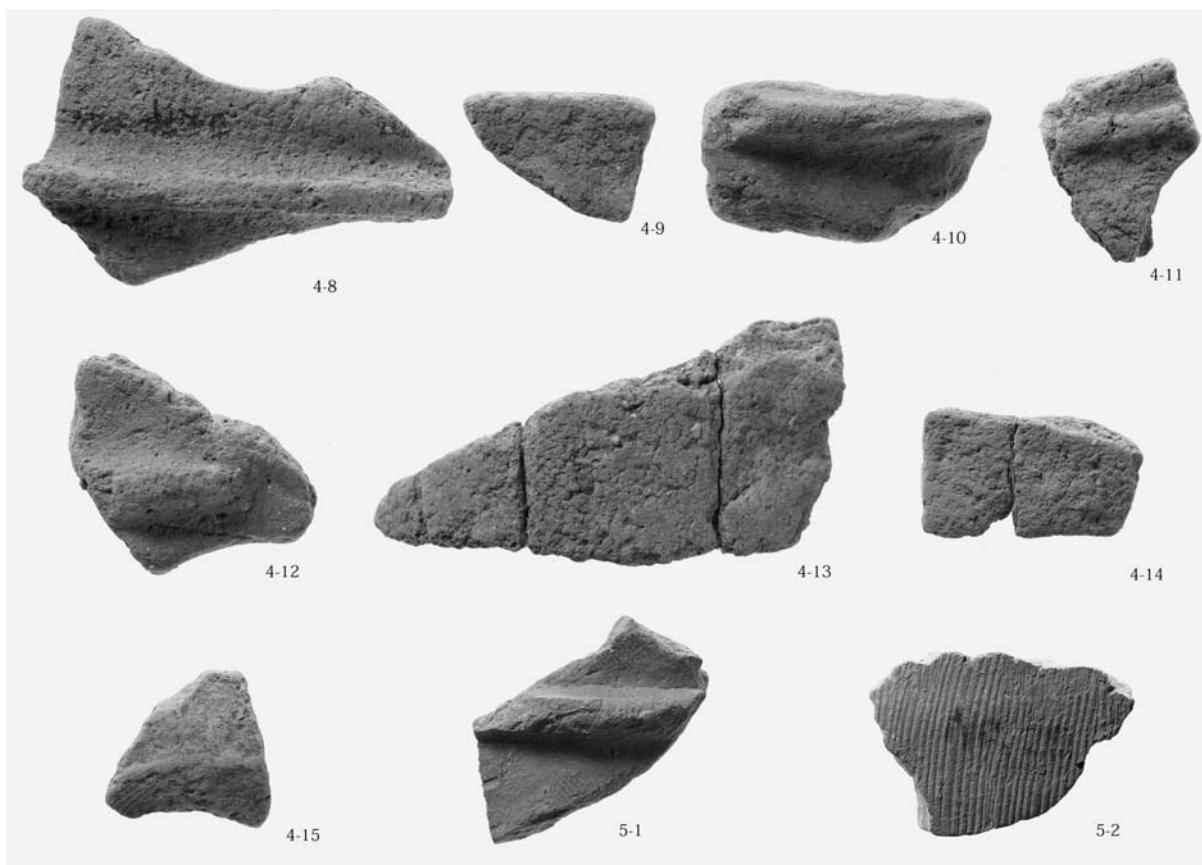


写真2 島根県立松江北高等学校所蔵埴輪

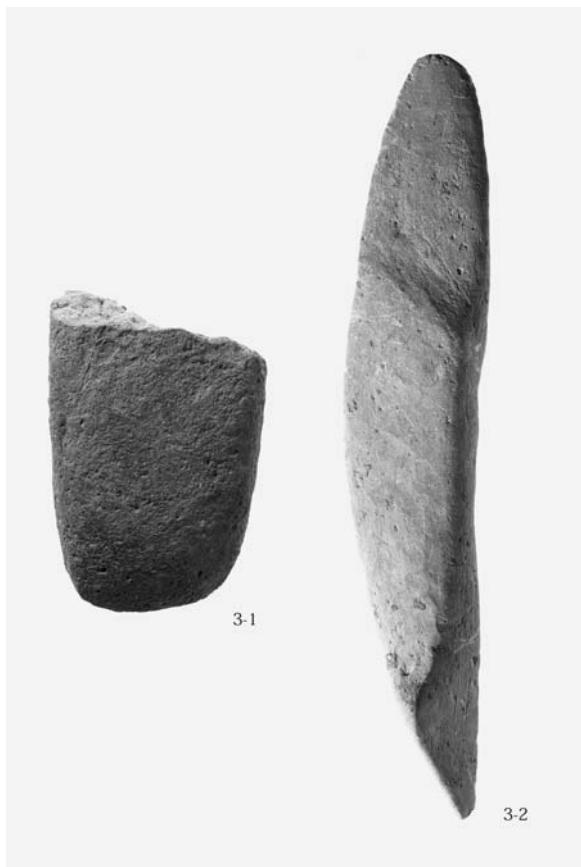


写真3 島根県立松江北高等学校所蔵石器



写真4 島根県立松江北高等学校所蔵瓦

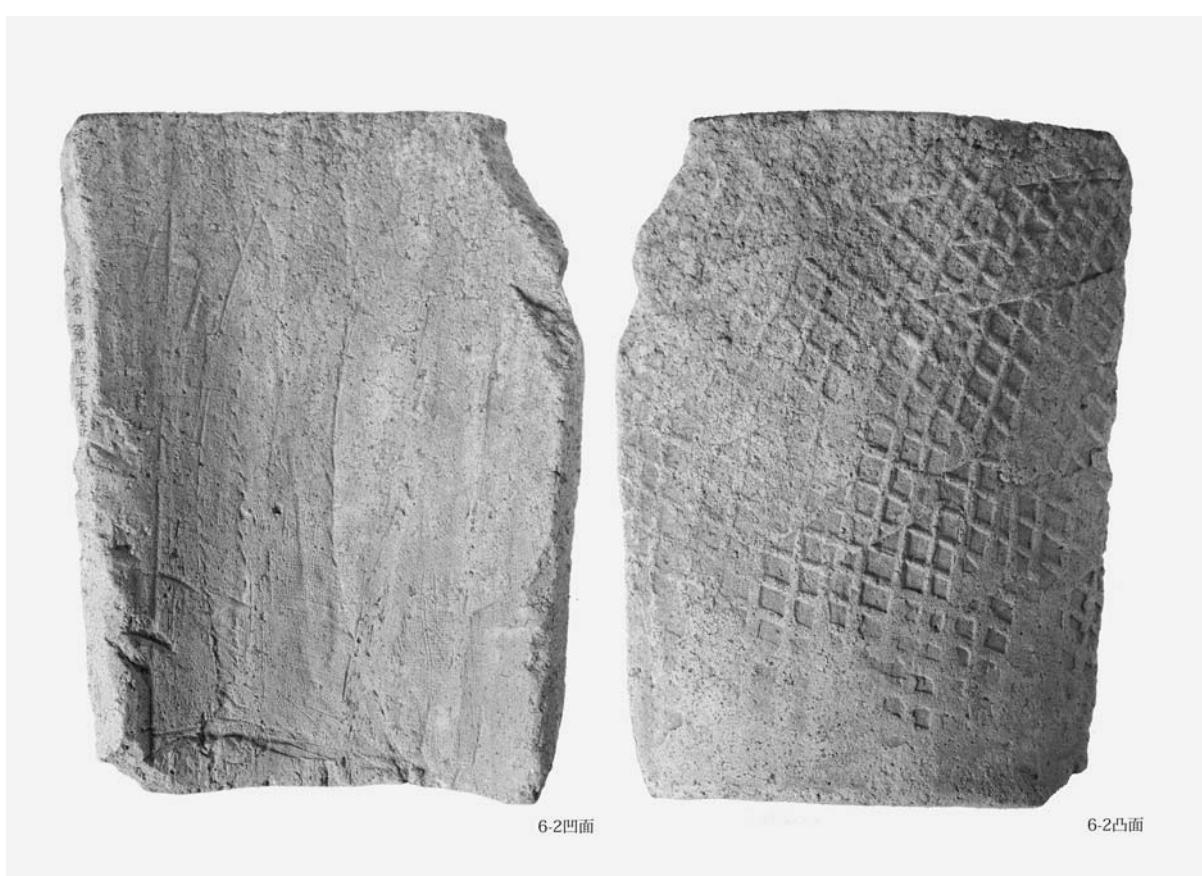


写真5 島根県立松江北高等学校所蔵瓦